

2019年1月1日
公益財団法人日本体操協会
審判委員会 トランポリン審判本部

【2017-2020 採点規則の変更点・追加点】

FIG ニュースレターNr23、Nr24 および Technical Regulations 2018 Update 版に基づき、採点規則の変更点、追加点を下記のとおり発表し、本通達をもって国内での適用を開始いたします。

採点規則 81 ページ 世界選手権 (W 杯を含む) の決勝におけるタイ・ブレイクに関して

変更前 規則 4.4.8. 決勝

(トランポリン個人 / トランポリンシンクロ / タンブリング / ダブルミニ)
すべての競技において決勝で同点が出た場合にはタイ・ブレイクを行わない。

変更後 規則 4.4.8. 決勝

(トランポリン個人 / トランポリンシンクロ / タンブリング / ダブルミニ)
すべての競技において決勝で同点が出た場合には以下の方法でタイ・ブレイクを行うこととする。

個人競技 トランポリン 決勝

1. 決勝演技の E 得点の最も高い選手
2. 決勝演技の HD 得点の最も高い選手
3. 決勝演技の T 得点の最も高い選手

上記の基準を適用してもなお同点が続く場合は、タイ・ブレイクは行わない。

シンクロナイズド競技 トランポリン 決勝

1. 決勝演技の E 得点の最も高いペア
2. 決勝演技の S 得点の最も高いペア
3. 決勝演技の HD 得点の最も高いペア

上記の基準を適用してもなお同点が続く場合は、タイ・ブレイクは行わない。

ダブルミニトランポリン競技 決勝

1. 第1パスおよび第2パスの E 得点の合計点の最も高い選手
2. 第2パスの E 得点の合計点の最も高い選手

上記の基準を適用してもなお同点が続く場合は、タイ・ブレイクは行わない。

タンブリング競技 決勝

1. 第1パスおよび第2パスの E 得点の合計点の最も高い選手
2. 第2パスの E 得点の合計点の最も高い選手

上記の基準を適用してもなお同点が続く場合は、タイ・ブレイクは行わない。

団体戦 決勝

トランポリン

1. 決勝出場者 3 名の E 得点合計の最も高いチーム
2. 決勝出場者 3 名の H 得点合計の最も高いチーム
3. 決勝出場者 3 名の T 得点合計の最も高いチーム

上記の基準を適用してもなお同点が続く場合は、タイ・ブレイクは行わない。

タンブリング ダブルミニトランポリン 決勝

1. 決勝出場者 3 名の第 1 パス、第 2 パスの E 得点合計の最も高いチーム
2. 決勝出場者 2 名の第 1 パス、第 2 パスの E 得点合計の最も高いチーム
3. 決勝出場者 1 名の第 1 パス、第 2 パスの E 得点の最も高いチーム

上記の基準を適用してもなお同点が続く場合は、タイ・ブレイクは行わない。

ペナルティに関する補足説明

服装やエンブレム未装着に関するペナルティ 0.2 については、下記のとおり適応されることを再度周知いたします。

トランポリン

個人競技、シンクロナイズド競技予選ともに、第 1 演技、第 2 演技の双方から 0.2 のペナルティ

タンブリング

個人競技予選・決勝ともに、第 1 演技、第 2 演技の双方から 0.2 のペナルティ

ダブルミニトランポリン

個人競技予選・決勝ともに、第 1 演技、第 2 演技の双方から 0.2 のペナルティ

H 得点に関する減点法変更

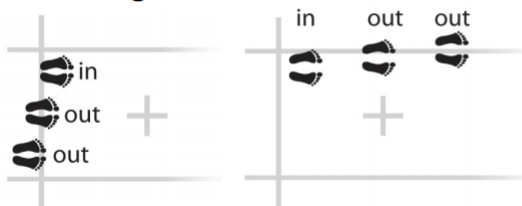
採点規則 50 ページ

審判員による H 得点採点の際に、下記の通り減点解釈の変更を行うこととします。

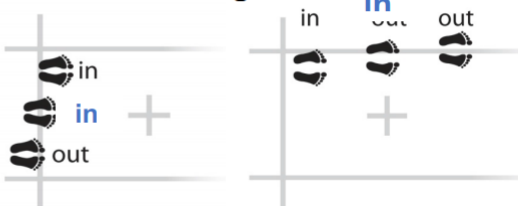
旧挿絵

新挿絵

Old drawing



New drawing



WAGC 2019-2020 TRAMPOLINE

2019-2020 適用 世界年齢別選手権大会第 1 演技の特別要求 ※変更点を赤字で記載

First routine with special requirements (only Individual Trampoline events)

11-12 years

The routine consists of 10 different elements, only two (2) elements allowed with less than 270° somersault rotation. Each element meeting the requirement must be marked with an asterisk (*) on the competition card. These requirements cannot be fulfilled by combining them into one element but must be performed as separate elements.

演技は 10 種目の異なった技で構成されなければならない。うち 2 種目は 270 度未満の宙返り種目を含むことができる。下記の特別要求を満たす種目にはアスタリスクマークを記載する。一つの技で複数の要素を満たすことはできない。

1. one (1) element landing on the front of the body,
 2. one (1) element landing on the back of the body.
 3. one (1) element with 360° somersault rotation with, at least, 360° of twist.
1. 腹で着床する種目
 2. 背中で着床する種目
 3. 1 回宙返りで少なくとも 1 回以上のひねりを伴う種目

13-14 years

The routine consists of ten (10) different elements, only one (1) element allowed with less than 270° somersault rotation. Each element meeting the requirement must be marked with an asterisk (*) on the competition card. These requirements cannot be fulfilled by combining them into one (1) element but must be performed as separate elements.

演技は 10 種目の異なった技で構成されなければならない。うち 1 種目は 270 度未満の宙返り種目を含むことができる。下記の特別要求を満たす種目にはアスタリスクマークを記載する。一つの技で複数の要素を満たすことはできない。

1. one (1) element to front or back,
 2. one (1) element from front or back - in combination with requirement No. 1,
 3. one (1) double front or back somersault with or without twist and
 4. one (1) element with a minimum of 540° twist and minimum of 360° somersault rotation.
1. 腹または背中で着床する種目
 2. 1. と組み合わせた種目
 3. ひねりを伴う、伴わないにかかわらず、前方または後方の 2 回宙返り種目
 4. 1 回宙返りにおける 540 度以上のひねりを伴う種目

15-16 years

The routine consists of ten (10) different elements, only one (1) element allowed with less than 270°

somersault rotation. Each element meeting the requirement must be marked with an asterisk (*) on the competition card. These requirements cannot be fulfilled by combining them into one (1) element but must be performed as separate elements.

演技は 10 種目の異なった技で構成されなければならない。うち 1 種目は 270 度未満の宙返り種目を含むことができる。下記の特別要求を満たす種目にはアスタリスクマークを記載する。一つの技で複数の要素を満たすことはできない。

1. one (1) element to front or back,
 2. one (1) element from front or back - in combination with requirement No. 1,
 3. one (1) double front or back somersault with or without twist and
 4. one (1) element with a minimum of 540° twist and minimum of 360° somersault rotation.
1. 腹または背中に着床する種目
 2. 1. と組み合わせた種目
 3. ひねりを伴う、伴わないにかかわらず、前方または後方の 2 回宙返り種目
 4. 1 回宙返りにおける 540 度以上のひねりを伴う種目

17- 21years

1. The routine consists of ten (10) different elements, each with a minimum of 270° somersault rotation.
10 種目の異なる宙返り種目で構成されること。
2. Two (2) elements, marked with an asterisk (*) on the competition card, will have difficulty ratings. The difficulty will be added to the execution, time of flight and horizontal displacement scores to give the total score for the first routine.
2 つの種目にアスタリスクマークをつけることでその種目の D 得点が加算される。
E 得点、T 得点、H 得点も第 1 演技の点数に加算される。
3. None of these two (2) elements may be repeated in the second routine of the qualifying round; otherwise the difficulty will not be counted.
上記のアスタリスクマークを付けた 2 種目を第 2 演技で使用した場合、繰り返すとみなしその技の D 得点を加算しない。

以上